

//// 夏場の安全作業について ////

作業を進める上で、安全を確保することは大変重要なポイントです。特に林業においては災害が発生すると重大な結果をまねきます。夏場の作業は疲労しやすく、事故の確率も高くなります。そこで労働災害をなくすための基本的な事項を紹介いたします。

I 刈払機使用に係る安全作業

1. 作業計画の作成等

あらかじめ、現場条件の調査、作業手順、作業者の配置、合図の方法等の作業計画を定め、事前に打合せを行うなどにより作業者に周知するとともに、当該作業の実施にあたっては、その作業の指揮する者を選ぶなどして、安全の確保に努めてください。

2. 作業の進め方

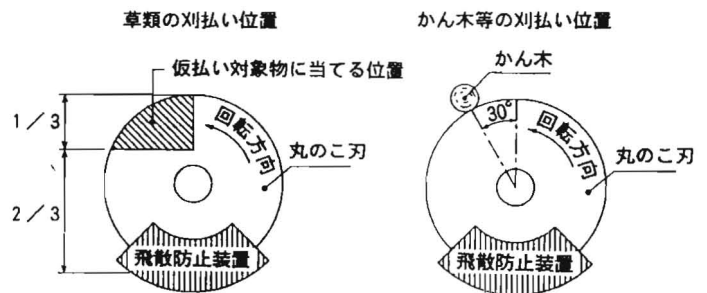
- (1) 斜面での刈払作業を行う場合は、作業位置が上下にならないようにしてください。
- (2) 刈払機の操作者から5メートル以内を危険区域（かん木等を刈払う場合は樹高の1.5倍の範囲）とし、この区域に他の者が絶対に立ち入らないようにしてください。
- (3) かん木等を刈払う場合は、切断部の直径が8センチメートル程度以下のものにしてください。
- (4) 岩石等の障害物が予想される箇所では、高刈りとし、状況に応じて二段刈りをするようにしてください。
- (5) 急傾斜地では、斜面の下方へ向かって刈り進まないようにしてください。
- (6) 打合せ等のため操作者に近づくときは、合図をし、操作者がエンジンを止め、刈刃が止まったことを確認してからにしてください。

3. 刈払機の取扱い

- (1) 刈払作業は、身体のバランスに常に配慮した正しい姿勢で行い、特に足の位置は、刈刃に近よらないように注意してください。
- (2) 刈刃で打つ、たたく等の方法での刈払いは

行わないようにします。

- (3) 刈払対象物に当てる刃の刈刃の位置は、図のように安全に切断できる箇所にしてください。



- (4) 刈刃が岩石等の障害物に当たったときは、直ちにエンジンを止め、刈刃が止まったことを確認のうえ、刈刃を点検してください。
- (5) 飛散防護装置の周辺部に雑草、つる等がからまったときは、エンジンを止め刈刃が止まったことを確認のうえ取り除いてください。
- (6) 刈刃が止まってもエンジンの運転中は、刈刃に近づいたり、手で触れたり他の作業者に近づけたりしないでください。
- (7) 高速での空運転はできる限り避けます。
- (8) 作業中又は休息時に刈払機を置くときは、燃え易いものがないか確認し、滑らないように安定させ、刈刃は見易い状態にしておいてください。

II ハチ刺されに注意しましょう

信州人のハチ好き（食用として）は有名です。ハチ好きな人にとってはこのうえもなく有難いハチでも、人の命を奪ってしまうほどの力があります。小さいからといってあなどってはいけません。今年は雨が少なくハチが多く発生すると予想されます。そこでハチに刺されにくくする方法を紹介します。

1. ハチに刺されないために

- (1) 巣に近づかない
- (2) ハチが餌を取っているところには近づかない

あたりまえのことですが、仕事をしていればこ
うはいきません。そこでハチが近寄ってきたとき
の対応は

ア ハチが通常の飛行をしているときは刺す
ことはありませんので急に動き出したりし
ないように、そっと姿勢を低くします。警
戒体制にはいつているハチに出会ったら、
静かに停止し急に動きだしたりしないよう
にします。目を細めて顔を下に向けてじっ
としているとハチは巣に戻るので、その後
充分注意して、静かに後退します。

イ 刈払機、チェーンソー使用時は、羽音がわ
かりにくいことがありますので、ハチが近
寄ってきたときはエンジンを止め、作業を
中止して前項の要領で静かに後退しましょ
う。

ウ 土の中の巣に振動を与えてしまい、急に
ハチに襲われることがあります。このよ
うなときは体の動きを少なくし、ハチが飛
んで来た反対の方向へすみやかに遠ざかり
ましょう。その際顔や手を振ったり体を左
右に動かさないようにします。

(3) ハチの近寄ってくる匂いを少なくする
匂いもハチを刺激し、攻撃の対象となりま
す。ヘアースプレー、ヘアートニック、香水
などの化粧品、体臭、汗臭などに対して、ハ
チは敏感に反応します。またジュースなどを
飲むときにも注意をします。

(4) 服装の注意
作業に従事する場合は、腕や頭を露出しな
いよう長袖シャツや軍手、保護帽などを着用
します。また色も黒いものはなるべく避けて、
できるだけ白色系統の明るいものにします。

2. ハチに刺されたときの対応

万一ハチに刺されたら、次のように対応し、早
めに専門医に診てもらってください。

- (1) 刺された場所から離れ、木陰や冷たい水の流
れている沢の付近に避難します。
- (2) 毒針や毒囊^{のう}が残っている場合はすぐに取り
除きます。

- (3) 四肢を刺された場合は、心臓に近い方を止
血ゴム管などでしばります。ただし数分間隔
でゆるめます。
- (4) 毒を出すため吸出器などで毒を出します。
- (5) 冷水で患部を冷やし毒が体内にまわるのを
抑制します。
- (6) 赤く腫れ始めたところに抗ヒスタミン剤軟
こうを塗ります。なお、腫れがひどくなる
ときは、副腎皮質ホルモン剤軟こうを塗ります。
- (7) あらかじめ医師から抗ヒスタミン錠剤等の
服用を指示されている者は、指示を受けたと
おりに服用します。

以上刈払機の安全作業とハチ刺されについて紹
介しました。事故を起こさないために、基本にか
えって安全な作業に心がけましょう。

ハチの種類と危険な時期



アシナガバチ 7~8月



スズメバチ 7~10月



ミツバチ 通年